

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成29年 2月

1 東京都中央卸売市場(平成29年1月)の青果物取扱について

《入荷量》

【市場全体】野菜入荷量が平年比**103%**、果実が同**100%**、青果計では同**102%**と平年を上回った。
 (野菜)12月からの晴天、気温高により関東地域が主産地であるだいこん等の根菜類の生育が良好、西南暖地におけるレタス類の生育も良好だったことにより入荷増となった。
 (果実)みかん類は主産地静岡県を中心に入荷量増、いちご類についても年内遅れていた生育が回復し、入荷増であった一方で、りんご類が主産地青森県で小玉傾向であったこと等により出荷残量が少なく入荷減となり、全体では平年並となった。

【茨城】野菜入荷量が平年比**103%**、果実が同**98%**、青果計では同**103%**と平年並であった。
 (野菜)12月の連続した晴天によりねぎの肥大が平年並みに回復した他、はくさいの前進出荷や、小松菜、ほうれんそう等の作付面積微増により入荷増となった。
 (果実)主要品目であるいちご類の生育、着果は回復してきたが、9、10月の曇雨天による初期生育の遅れから、収量が平年よりやや減少し、入荷減となった。

《販売金額》

【市場全体】野菜が平年比**105%**、果実が同**111%**、青果計では同**106%**であった。
 (野菜)昨年の台風、曇雨天の影響により、にんじんの入荷量が不安定なことから単価高、はくさい、ねぎについても各産地の出荷量は回復してきたものの単価高となった。
 (果実)りんご類が主産地でも出荷残量が平年より少なく価格高の展開である以外は、みかん類、いちご類は、価格は年明けから平年並みに落ち着いた。全体としては、入荷量が平年より多いため、金額増となった。

【茨城】野菜は平年比**116%**、果実は平年比**110%**、青果計では同**115%**であった。
 (野菜)入荷量が回復してきたねぎ、はくさいの市場価格が単価高で推移している他、8月台風の影響により入荷減が続くれんこんは、年明け以降も単価高となった。
 (果実)主要品目であるいちご類が、入荷量が平年よりやや減少したため、単価高となった。

《数量・金額シェア》

茨城県の1月計の青果物入荷量は平年比**103%**(シェア**12.0%**)、取扱金額は同**115%**(シェア**8.8%**)となった。

1月	市場計※2			茨城			千葉			
	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	
数量	H29	160,573	123,907	36,666	19,203	18,763	441	22,802	22,702	100
	H28	155,064	120,420	34,644	18,631	18,200	431	24,374	24,296	78
	(前年比)	(104)	(103)	(106)	(103)	(103)	(102)	(94)	(93)	(128)
	平年値※1	156,797	120,242	36,555	18,603	18,152	451	22,163	22,089	74
	(平年比)	(102)	(103)	(100)	(103)	(103)	(98)	(103)	(103)	(134)
金額	H29	46,913	31,257	15,656	4,113	3,551	562	4,571	4,439	132
	H28	43,911	28,603	15,308	3,584	3,027	557	3,976	3,873	103
	(前年比)	(107)	(109)	(102)	(115)	(117)	(101)	(115)	(115)	(128)
	平年値※1	44,462	29,842	14,130	3,562	3,049	513	4,212	4,119	93
	(平年比)	(106)	(105)	(111)	(115)	(116)	(110)	(109)	(108)	(141)

(単位：t, 百万円, %)

東京都中央卸売市場における青果物取扱数量及び金額(平成29年1月計)

	市場計※2			茨城			他県のシェア(1月計)			
	1月	年間計	年間比	1月	年間計	年間比	千葉	北海道	青森	
数量	H29	160,792		19,231	←シェア(12.0%)		14.2%	8.7%	3.9%	
	H28	155,064	1,956,079	7.9	18,631		15.7%	9.3%	4.4%	
	(前年比)	104			103	シェア(12.0%)				
	平年値※1	156,797	2,013,667	7.8	18,603					
	(平年比)	103			103	シェア(11.9%)				
金額	H29	46,983		4,131	←シェア(8.8%)		9.7%	3.9%	5.0%	
	H28	43,911	586,489	7.5	3,584		9.1%	3.2%	5.4%	
	(前年比)	107			115	シェア(8.2%)				
	平年値※1	44,474	459,585	9.7	3,562					
	(平年比)	106			116	シェア(8.0%)				

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成24、25、26、27、28年の5ヵ年平均。
 ※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》
 平成28年実績(1~12月計)
 茨城県：金額シェア(10.5%)、数量シェア(11.7%)
 千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(11.5%)
 北海道：金額シェア(6.4%)、数量シェア(11.2%)
 青森県：金額シェア(6.0%)、数量シェア(6.2%)

2 東京都中央卸売市場(平成29年1月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

※ 前年比は、平年値に対する本年値の割合を表す。
(平年値は平成22,24,25,26,27年の5ヵ年平均値)

野菜類の入荷量は18,790トン(前年比103%, 平年比104%), 単価は190円/kg(前年比114%, 平年比113%)。
果実類の入荷量は441トン(前年比102%, 平年比98%), 単価は1275円/kg(前年比99%, 平年比112%)。

	品目	数量 t			単価 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	はくさい	11,432	104	101	103	91	212	175	168	1,041,127	219	177
	れんこん	553	81	77	80	652	134	153	149	360,357	109	119
	ねぎ	869	98	104	99	244	108	119	125	211,943	107	124
	みず菜	623	99	104	99	330	88	67	68	205,776	88	71
	こまつ菜	546	102	174	123	346	104	74	74	189,136	106	137
	ほうれんそう	392	109	120	111	469	80	80	81	183,712	88	95
	野菜類計	18,790	103	104	103	190	114	113	102	3,569,044	118	117
果実	いちご類	436	103	99	105	1,284	99	111	109	560,171	101	110
	果実類計	441	102	98	100	1,275	99	112	110	562,134	101	110

- ・はくさい 茨城県産はくさいは、出荷前進化により1月上中旬入荷量が多く、下旬は平年よりやや減少したものの、入荷量は月間を通して平年比101%、市場全体では、群馬(前年比129%)、埼玉(同188%)等の近在産地からの入荷量が本県同様に1月上中旬と多く、平年比103%であった。年内の品薄感は解消されたものの、寒さによる需要から、年明けも単価は堅調であり、茨城県産単価は前年比212%、平年比175%、金額は前年比219%、平年比177%であった。
- ・れんこん 茨城県産れんこんは、昨年8月の台風による地上部の損失から、入荷不足が続き、年末需要が落ち着いた1月入荷量は平年比77%と、先月よりさらに少なかった。市場全体では、佐賀(前年比200%)等からの入荷量がやや多く、平年比80%であった。単価は、上中旬は先月よりさらに高値となり、下旬にかけて低下したものの茨城県産は前年比134%、平年比153%、金額は前年比109%、平年比119%であった。
- ・ねぎ 茨城県産ねぎは、11、12月の連続した晴天や平年と比べて気温高が続いたことから肥大が回復、中心規格は平年並みとなり平年比104%と多かった。市場全体では、主産地の千葉県(前年比95%)がやや少なく、平年比99%とほぼ平年並であった。単価は、入荷量回復に伴い、下旬は平年並まで下がったものの、1月全体では高値となり、茨城県産は前年比108%、平年比119%、金額は前年比107%、平年比124%であった。
- ・水菜 茨城県産みず菜は、11,12月の好天により生育・収量は良好、1月後半の低温の影響から下旬の入荷量は減少したが、1月全体では平年比104%と多かった。市場全体では、近在産地の埼玉(前年比68%)、群馬(同82%)が少なく、平年比99%とほぼ平年並であった。単価は年内の品薄感が解消されたことから軟調に転じ、茨城県産は前年比88%、平年比67%と低く、金額は前年比88%、平年比71%であった。
- ・こまつ菜 茨城県産こまつ菜は、11,12月の好天により生育・収量は良好、月間を通して入荷量は平年比174%と非常に多く、市場全体でも平年比123%と多かった。単価は下旬にかけて上げ基調となったが、入荷量増加の影響により低く推移し、茨城県産は前年比104%、平年比74%、金額は前年比106%、平年比137%であった。
- ・ほうれんそう 茨城県産ほうれんそうは、10月以降、産地で播種量を増やす等面積がやや増加した影響もあり、入荷量は平年比120%と多かった。入荷量増加の影響により単価は低く茨城県産単価は前年比80%、平年比80%、金額は前年比88%、平年比95%であった。

(果実)

- ・いちご類 茨城県産いちごは、年内の生育遅れから回復したが、初期生育への曇天の影響や面積減等から入荷量は平年比99%とほぼ平年並、市場全体では主産地の栃木等からの入荷が多く、平年比105%であった。年末年始に価格修正が入ったため、年明けの引き合いは強く、単価は月間を通して平年よりは高値で推移し、茨城県産は前年比99%、平年比111%、金額は前年比101%、平年比110%であった。

★詳細は、茨城県農産物販売推進東京本部 ホームページ「市場情報(青果物)」をご覧ください
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/toryuse/data.html>